



## 電子聴診器 JPES-01

### 特長



圧電フィルムを使用した高感度なセンサーと電氣的な増幅により、高音質な聞き取りを可能にしています。

直接、肌にあてず服を通して聴診できます。

ヘッドホンにより単独で聴診できます。

医者が直接、患者に触れることなく、無線により高品位の音(ハイレゾリューションオーディオ)を外部端末に伝えます。

Windows PCと連動することにより、音の記録・再生、周波数解析やスペクトログラム表示がリアルタイムで行えます。

- ・最適な聴診音で診断できるようにするために、3つの異なる周波数のモードから選択することが出来ます。
  - モード1(ベルモード) : 20~100Hzの低い周波数帯域が強調されます。
  - モード2(ダイヤフラムモード) : 200~2000Hzの高い周波数帯域が強調されます。
  - モード3(ワイドモード) : 20~2000Hzの周波数帯域が強調されます。
- ・バッテリー充電方式です。フル充電で無線機能を用いない場合の連続使用時間は8時間、無線機能を用いた場合の連続使用時間は5時間です。小まめに電源を切る使い方では1日の使用が可能です。
- ・バッテリーの充電中は使用できません。無線接続では、1つのUSBアダプターに複数の電子聴診器をペアリングできます(ただし、同時に複数を使用できません)ので、2台を用意し、代わる代わる充電すれば、無制限で使用することができます。
- ・現在、サポートしている接続端末は Windows です。iOS, Android への対応は、まだ不確定ですが、2021年5月を目標に開発を進めています。それに伴いハードウェアの変更があった場合には無償で交換します。

# 無線機能



本品は、最大10mの範囲で送受信可能な2.4GHz帯無線機器（技術認証済）を使用しています。障害物（壁、家具や人）が本品と通信可能な外部機器との間にある場合には、電波の送受信可能範囲は減衰します。無線通信の送受信を問題なく行うためには、本品と外部機器の間の距離を短くするか、あるいは間に障害物を置かないことが望ましいこととなります。

- 無線で送受信する音はハイレゾリューションオーディオ（サンプリング周波数48kHz，16ビット）で、正確な音を伝えます。
- 電子聴診器接続ヘッドホンで聴診音を常に聴くことができます。
- 電子聴診器接続ヘッドホンでPCサウンドを聴診音と共に聴くことができます。
- PC接続ヘッドホンでアプリを通さずPCサウンドと共に聴診音を常に聴くことができます。（Windows の設定が必要です。）
- 聴診音はPCのサウンド入力として、一般のアプリにより音を聴いたり記録したり、インターネットを通して外部に伝えることができます。ただし、インターネットを通した場合、音質が劣化します。

## 波形表示アプリケーション

- Windows10 に対応した 専用アプリ wavePlot が付属します。
- 音の波形・スペクトラム・スペクトログラムをリアルタイムで表示します。
- データベースを持ち、音データと共に患者の個人データ・測定日時・測定部位・メモを記録することができます。
- 収録した音は内部メモリに記録され、時間を遡ることができます（最長10分）。
- 収録した音すべてをファイルに保存することができます。音の記録時間はハードドライブが許す限り無制限です。ファイルは .wavファイルですので、普通のサウンド・アプリで聴くことができます。
- 英語版と日本語版があります（下は英語版です。）

